

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第1章 事業別の医療体制の整備・充実

第4節 周産期医療

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部医療課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 周産期医療の充実	
→	分娩を取り扱う25施設を本計画に記載
→	N I C U病床の後方支援施設(1施設)の運営費等への補助
→	レスパイト入院を行う3病院への補助
→	特設ウェブサイトの作成及び運営(2年間延べ227,965件アクセス)
(2) 周産期救急医療体制の充実	
→	周産期救急医療システム受入病院(23施設)の運営費への補助
→	N I C U病床の増設(15床)への補助
→	「傷病者の搬送及び受入れの実施基準」の策定
→	県域を超えた周産期搬送体制の構築に向けた施行の実施(4年間延べ36人)

2 目標値の推移

取組 区分	名称	単位	策定時	実績値 (H28)	達成目安	目標値 (H29年度)	達成率 (%)	備考
(2)	産科医・産婦人科医 の数	人	699 (H22)	744 (H26)	743	750	◎ (102.2%)	実績値：平成26 年医師・歯科医 師・薬剤師調査
(2)	NICUの病床数	床	195 (H24)	213 (H28)	216.6	222	○ (83.3%)	

3 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県内				備考
				H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
(1)	県	県内の分娩取 扱施設数	施設	62	63	61	62	出典：産科医療及び 分娩に関する調査
(1)	その他	周産期母子医 療センターに おけるNICU長 期入院児数	人	4	10	—	—	出典：周産期医療体 制に係る調査及び周 産期母子医療センタ ーの評価

(2)	県	基幹病院の妊産婦受入割合	%	47.7	51.1	52.0	調査中	出典：周産期状況調査
-----	---	--------------	---	------	------	------	-----	------------

4 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 周産期医療の充実

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・分娩施設の増に向けた取り組みや後方支援を行う機関への補助などを行った。 ・しかし、参考指標に掲げる県内の分娩取扱施設数については、出生数が減少しているという社会的背景のためか、減少している。 ・また、参考指標に掲げる周産期母子医療センターにおける NICU 長期入院児については、妊婦の高齢化が進んだためか、増加している。
評価理由	周産期医療の充実に向けて、各種事業を実施しているが、分娩取扱施設が減少し、NICU 長期入院児が増加している。
今後の取組の方向性(29 年度に向けた取組の方向性)	引き続き、レスパイト入院を行う病院への補助を実施し、NICU 長期入院児が在宅等の適切な施設へ移行できる体制の強化に取り組む。
次期計画に向けた取組の方向性	・1施設あたりの分娩取扱件数の上限を増加させるための取り組みについて検討を進める。 ・NICU 長期入院児に限らず、レスパイト入院を必要とする小児在宅患者への支援に向けた検討を行う。

(2) 周産期救急医療体制の充実

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・周産期救急医療システムの円滑な運用に向け、各種事業を実施した ・数値目標に掲げる NICU の病床数については、概ね達成している。 ・また、参考指標に掲げる基幹病院の妊産婦受入割合については、平成 25 年度からは、増加しているが、周産期医療体制整備計画を策定した平成 22 年度の割合(62.2%)と比較すると減少している。(高次医療機関への患者の集中化が解消されつつある。)
評価理由	・NICU 病床が概ね数値目標どおり整備されている。 ・基幹病院の患者受入割合が減少しており、高次医療機関への患者の集中化が解消されつつあることが伺える。
今後の取組の方向性(29 年度に向けた取組の方向性)	周産期救急医療体制を維持・強化するため、引き続き、周産期救急医療システム受入病院の運営費に対し、補助を行う。

次期計画に向けた取組の方向性	周産期救急医療体制を維持・強化するために、引き続き、周産期救急医療システム受入病院の運営費に対し、補助を行う。
----------------	---

5 総合評価

評価	評価理由
C	周産期医療が充実されるための取組みについては、レスパイト入院への対応にやや進捗の遅れがあり、周産期救急医療体制の充実に向けた取組みについても、課題解決に向けてやや進捗が遅れている。

6 特記事項

--